和教時報

2023年10月15日（日）発行　第2002号（毎月15日発行）
発行所／〒640-8269 和歌山市小松原通3-20　和歌山県教職員組合
TEL 073-423-2261　FAX 073-436-3243　情宣部長／山口法之
1部　20円（購読料は組合費に含みます）

和教組ゆるキャラ みばん

県人事委員会勧告

国準拠で改善も物価高騰に追い付かず 会計年度任用職員の賃金改善に言及 県教委の「働き方改革」に厳しい指摘

和教組　書記長　川口　貴生

一〇月一一日、県人事委員会は県職員の給与や勤務条件について、県内九九の民間事業所との比較をもとに知事と県議会議長に「報告及び勧告」を行いました。

内容です。

生活改善には　遠く及ばず

月例給では、県職員が民間よりも三，三六二円下回ったとして、国に準じて改善するよう勧告しました。若年層に厚く配分され、大卒初任給で一一，〇〇〇円、高卒初任給で一二，〇〇〇の改善、号給が上がるにつれベアを圧縮し、再任用者で一，〇〇〇円の改善です。全世代の改善ですが、この間の物価高騰の前では生活改善に遠い

人事委員会勧告（2023年10月11日）の主な内容

1、公民較差　3,362円（0.92%）　県職員より民間が高い

2、給料表　国家公務員に準じ初任給・若年層に重点を置き改定（平均3,344円、0.91%）

3、一時金　+0.1月　年間4.5月に(民間平均4.48月)
期末手当・勤勉手当にそれぞれ0.05月ずつ配分
再任用者は＋0.05月　年間2.35月に

4、会計年度任用職員の給与
・国家公務員に準じ、条例等の改正により常勤職員の給与が改定された場合、常勤職員に準じて改定することが適当
・地方自治法改正により令和６年度から勤勉手当を支給することが可能となったため、同年度から期末手当に加えて勤勉手当を支給することが適当

会計年度任用職員の四月遡及、勤勉手当

教育三者（和教組、和高教、教育庁職組）や県公務員共闘は、この間の人事委員会との交渉の中で会計年度任用職員の賃金改善について強く要求してきました。勧告では、国の非常勤職員の給与制度が改善されたことを挙げ、「職員の給与に関する条例等の改正により常勤職員の給与が改定された場合、常勤職員に準じて改定することが適当」と、四月に遡っての改定に言及しました。

また、支給されていない勤勉手当についても「地方自治法が改正され支給可能となる令和六年度から支給することが適当」としました。

学校の多忙問題

学校の多忙問題について、人事委員会は昨年度、県教委に対し「具体的な成果を出す必要がある」と言及しました。今年の勧告では、県教委の「教職員の働き方改革推進プラン」（教職員一人当たり超過在校等時間を一月につき四五時間以内とするなど）の数値目標に未達成が多いことを挙げ、「成果を出せていない」とズバリ指摘し、あらためて「自ら定めた目標である以上、対策を講じて具体的な成果を出す必要がある」としました。

確定交渉で　前進を勝ち取ろう

私たちの労働条件は、人勧で決まるのではなく、県教委との交渉で決まります。まもなく始まる確定交渉で切実な要求を訴え、力を合わせて前進を勝ち取りましょう。

輝いてワンショット

もうすぐ確定交渉が始まります。

（県人事委員会事務局交渉より）

ピンのスポット　414

今年の猛暑は歴史的で、全国各地で歴代最高気温を記録しました。世界的に見ても七月の世界の平均気温は観測史上最高となり、国連のグテーレス事務総長は「地球温暖化の時代は終わった、地球沸騰化の時代が来た」と警鐘を鳴らしています。気候変動対策は文字通り待ったなしの最重要課題です。

先日、ドライブスルーでハンバーガーのセットを購入し、食べ終わって、包装紙や容器、紙ナプキンなどの大量のごみを見て、少し気まずくなりました。ささやかですが、ドライブスルーの利用を控えたり、エアコンの温度設定を変えたり、使い捨て商品の利用を少なくしたり、エコバッグを常備したりするなど、できることからやっていこうと思っています。（T）

和歌山市支部教研

学級を安全基地にするためには…

和歌山市支部　楠見小分会　赤津　直美

九月二三日、支部教研をしました。全体会は、前雑賀小学校校長の市川圭造さんのお話を聞きました。その後、小学校の分科会と特別支援学級の分科会に分かれました。

特別支援学級の分科会では、一・二・四・五・六年の八名の情緒障害学級の報告がありました。一人ひとりいろいろな問題を抱えていて、落ち着いて学習ができないこと、交流学級に行けない子どももいて、時間割に関係なく常に人数が多い状態であること、途中から、知的障害学級の先生や学力アップの先生、専科の先生、特別支援教育支援員の先生たちにサポートしてもらっていることなど、くわしく学級の状態を語られました。それを聞いて、参加者から、「コグトレをしたら、変わったよ」「保護者の方に授業の様子を見てもらって、一緒に考えたよ」など、今までの実践からの意見が出ました。皆さん親身になって、どうすれば学級が安全基地になっていけるのか話し合いました。デイサービスの利用や、医療との連携、服薬についても話が出ました。会が終わった後も、話が尽きませんでした。ここでの話し合いが、元気になる材料になったらいいなと思いました。

那賀支部教研

「支部教研」を通じて《特別支援教育の部》

那賀支部　那賀中分会　小坂　夏樹

今回、那賀支部の特別支援教育の部に参加し、特別支援教育の「自立活動」に関して話し合いました。昨今、特別支援学級を利用される児童・生徒が増加し、多様性も増す中、どのように子ども達の成長を促すように活動するかが大きな課題となっています。

「自立」を促す活動とは何なのか？初めて特別支援を担当したときに、非常に苦慮した記憶があります。教科の授業のように教科書があるわけではなく、子ども達の「自立」を目的にした取り組みは、個々の子ども達の発達段階の差もあり、一筋縄ではいかないものでした。先輩の先生方に教えてもらいながら、子ども達にどのような力を付けさせるかを考え、自分なりに「自立」活動に取り組んできました。

今回、この支部教研で専門教科・校種の異なる先生方と交流する中で、様々な気付きがあることを再度認識しました。やはり、面前での意見交換・交流は私たちの考えを深め合う絶好の機会です。普段、悩んでいることや分からないことなどを様々な先生と交流することで、自身の取り組みを振り返り結果、より良い教育活動へと練り上げていくことが出来るものであると感じました。

表現を通じて子どもの新しい一面を知る

日高支部青年部

和教組日高支部では今年度も青年部員に季刊誌「わかやまの子どもと教育」を届けています。今回、二〇二三年夏号（八八号）を使って学習会を開催しました。八八号には印南小学校の萩平さおり先生が執筆しており、萩平先生をお招きして実践について報告していただきました。

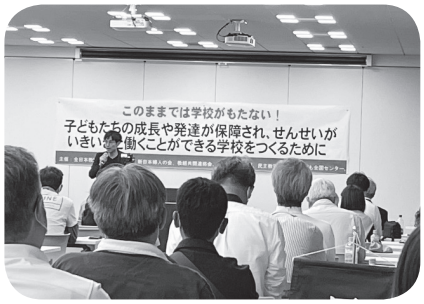
はじめに、萩平先生が当時の学級や子どもの様子などを補足しながら、季刊誌を読んでくださいました。子どもが安心して表現できる教室をつくりたいという思いから、学級に画用紙とマジックペンを用意したこと、子どもが感じていることを知るために目の位置を同じにして寄り添ってきたこと、絵を通じて子どもとの関わりが広がったことなどをお話しいただきました。

また、実際に子どもが描いた絵を持ってきてくださり、参加者で絵を見ながら感じたことなどを交流しました。アリの絵からはじまって、アリジゴク、カマキリなどに関心が広がっていること、算数でコンパスの使い方を習った後、すぐに絵の中に取り入れていることなど気づいたことを交流しました。何よりも、表現することを通じて子どもと日に日に心を通わせ、新しい一面を引き出している実践に感激しました。

さらに、学習会に参加した青年の先生が新しく組合の仲間になり、嬉しいとりくみとなりました。

「給特法全国集会」に参加して

有田支部　初島小分会　浦西　綾子
吉備中分会　古久保　勝政
南広小分会　八城　晴香
田鶴小分会　大倉　涼加



私たち有田支部常任四名は、一〇月七日、東京で開かれた中央行動に参加しました。

会場には約二〇〇人の参加者が集まり、教職員の長時間勤務の実態と、それに歯止めをかけゆとりある学校を取り戻すための課題について学びました。

まず、全国の学校現場で、簡単に休めない雰囲気が広がっている反面、病休者が増加するのにともない教職員が未配置状態になっている状況の深刻さが改めて知らされ、長時間勤務が根深い問題であることを再確認しました。

私たち教員の持ちコマ数の標準（週あたり二四コマ）は、学校が週六日制の頃に設計されたもので、今の現状に合っていないことや、教員数は子どもの数に応じて設定されるため、少子化が進む中、業務量が増えても教員の数は増えないことなど、初めて知らされることが多くありました。教員は残業せざるを得ない場で働かされていて長時間勤務が放置されている。このままでは、今以上にゆとりがなくなっていくであろう学校に恐怖を感じました。

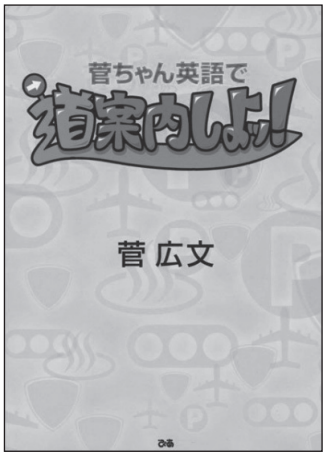
空き時間に教材研究や事務などの一人仕事ができるだけの持ちコマ数にし、放課後には学校職員にとって必要不可欠な仕事である情報共有など職員間のコミュニケーションの時間が保障されなければ、長時間勤務を解消することなどできるはずがありません。

「自分たちに必要なことは、働き方は自分たちでつくっていくこと」という言葉が心に残りました。私たちの働き方をみんなで考え、声を上げること。今の学校の働き方が改善されるまで訴え続けること。そんな熱を感じさせられた集会でした。

ぜひ あなたにも 読んでいただきたい この一冊

14 「管ちゃん英語で道案内しよ!」

有田支部　南広小分会　八城　晴香



本をオススメする前に、テレビの話をさせてください。

私がまだ学生のころ、MBSで「ちちんぷいぷい」という番組がありました。その中で私が好きだったのが、芸人のロザンが駅で道に迷っている人を目的地まで案内するという企画「ロザンの道案内しよ!」です。二人が楽しく会話をしながら色んな人を案内していきます。

その中で、外国人の方に声をかけた時、菅ちゃんの第一声は「フロム?」相づちは「ヤーヤーヤー」きちんとした英語ではないのに会話が成立するという不思議な現象が起こっていました。「賢いのに、英語はへっぽこ!」という衝撃と、なんか変だけどなんか通じる英語のトリコになりました。番組ではこの現象を「菅ちゃん英語」と呼んでいました。

そんな独特の表現「菅ちゃん英語」をまとめた本が今回オススメする本です。本の構成もそのときのシュチュエーションと伝えたいことが日本語で書いてあり、菅ちゃんはなんて言ったんだろう?自分なら何て言うかなぁ?と考えながら、どんどんページをめくり、爆笑しながらあっという間に読んでしまいました。

私はそれまで、英語が苦手だから…とALTの先生ともあまり関われなかったのですが、「笑顔四、ジェスチャー四、英語二」でいいんだな!と勇気をもったのを覚えています。

ちなみに、「ロザンの道案内しよ!」はよんチャンTVで今でも放送されているそうです。火曜日夕方はこの本片手にテレビなどいかがでしょうか?

全教近畿ブロック
青年教職員学習交流集会in大阪
テーマ「交流～あいたかった人、います～」

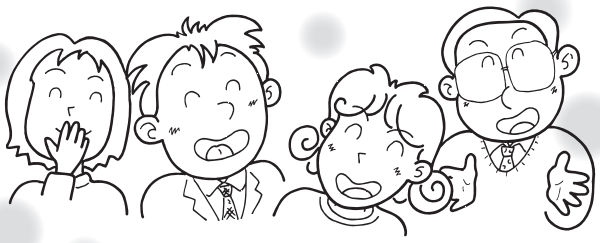
日時 11月25日(土)13:00
～26日(日)12:00

場所 サニーストンホテル（吹田市）

内容 1日目 レポート交流会（校種別分科会）
夕食交流会
2日目 実技講座

※組合員は参加費無料
※内容の詳細について知りたい方、参加申込みは各支部までお願いします。

安心と信頼
教職員のための
『教弘保険』



（公財）日本教育公務員弘済会　和歌山支部
提携保険会社：ジブラルタ生命保険株式会社

■和歌山第一営業所　073-421-8250　■和歌山第二営業所　073-421-8250　■和歌山第三営業所　073-421-8250
■橋本営業所　0736-33-1620　■田辺営業所　0739-22-5751　■新宮営業所　0735-22-0101